

したるも敵の熾烈なる銃砲爆撃の爲死傷續出し前進不可能となり聯隊長は四日夜更に部署を変更し攻撃前進を再興したるも前進し得ずⅡの如き全く敵の重圍に陥り脱出不可能となる

二六、五月三日師團は軍命令により總攻撃を中止し戰略持久の態勢を更に強化するため首里北側地區に轉進すべき軍命令を受領したるを以て師團長は概ね左の如く部署すると共に行動す

1. 師團長は依然首里戰鬥司令所に在り

2. 歩兵第八十九聯隊

イ五月七日Ⅰは配備を完了しⅢ又十日編制完結し各部隊は總攻撃前の陣地を堅固に確保し戰鬥を繼續す

五月九日頃より敵は小波津正面より連玉森正面に向ひ攻撃を開始す連玉森及54高地附近は五月十日頃より敵の猛攻を受け第五中隊一小隊は同十二日54高地に於て全滅す
敵は逐次小波津西北方高地方向より主攻撃を指向し來る

當時第七中隊は安里西北方高地に於て戰鬥中なりしが五月十五日日頃其兵力殆ど皆無の状態となれり

三月二十五日連玉森は敵手に陥り屢々之が奪回攻撃に實施したるも遂に成功するに至らず

Ⅲ亦逐次壓迫を受くるに至れり

五月二十五日夜敵は我騎方向より與郡原附近を強行突破し南を森島袋の線に進出す

五月二十六日聯隊は一部戦線の整理を命ぜられ約五、六百米後方地帯の陣地を確保すⅠは依然現位置に在り

與郡原附近を突破せる敵は逐次兵力を増加し後方に進出す

五月二十七日頃聯隊は多大の損害を被りたるを以て他部隊より兵力の補充を受け與郡原突破の敵を攻撃したるも遂に成功せず
一般狀況要圖第六の如し

3. 歩兵第二十二聯隊

イ聯隊は總攻撃中止後原陣地を確保し連日力斗す八十九聯隊方面に於ては小波津附近に敵の侵入する所となり之が爲聯隊の右翼又敵に曝露し大なる脅威を受くるに至る右第一線Ⅱ方面又Ⅰとの中間地區に敵溢出し來れるも各隊既に兵力の激減を來し漸く激斗に耐ふるのみ

五月四日夜^{28/s}を聯隊の正面に増強せしめ一時陣地を強化し得たるも該部隊亦數日にして潰滅的打撃を受け聯隊特にⅠは敵中に突出孤立し現陣地の保持困難となりつつあり

此頃迄に各大隊は既に幹部以下其の大部分を失ひ兵力僅に百名内外となる

聯隊長は新に解体轉屬せしめられたる^{28/s}及獨立整備隊那覇分廠要員をⅠⅡ兩大隊に配屬せしめ辯ヶ嶽附近より¹⁵⁰高地線に右よりⅠⅢⅡを配置し新に陣地を占領せしめ此間作井隊、獨機等より人員兵器の補充を受け此の頃各大隊の戦力大隊長以下數十

名にして一〇〇名に満たず兵器彈藥の補充又意の如くならずの如き僅か十數名に過ぎず

本陣地に對し敵は五月十三日頃より攻撃を開始し第一線各部隊は連日激斗せるも損害甚大にして聯隊本部等の人員其の他負傷者に至る迄之を戦線に送り全力を竭して力斗せるも如何せん各大隊其の人員僅に十數名に過ぎざる状態となりⅠは五月二十日

Ⅰは同十九日遂に敵の爲重圍に陥り²⁴の救援を得て辛うじて²¹140高地を保持しあるに過ぎず此の頃²⁴戦馬大隊新に辯ヶ嶽附近に陣地を占領しⅡの全滅と共に激戦中なりしを以て聯隊長は新に轉屬せしめられたる白砲大隊長緒方少佐を長としてⅢを編成し(數十名)以て此の戦斗に参加せしめ戦馬大隊を併せ指揮せしむ

此の頃ⅠⅡ長は閉塞せられたる陣地より奇蹟的に逐次脱出したるを以てⅢを編成参加せしめⅠを予備として首里新川附近に於

て轉屬者等を以て大隊の再編成を爲さしむ
歩兵第三十二聯隊

イ 五月七日、新に²⁹を配屬す

同日聯隊は勝山北端²⁹及經塚北端を連ぬる線を占領し持久すべき任務を受け當時一は棚原より轉進歸還し石嶺北側附近に集結す棚原附近に於ける同大隊の損害は甚大にして大山大尉以下多くの將兵を失へり

ロ 聯隊は屢次の戰鬥に依り戦力の減耗甚大にして新に¹の中、²⁶の²⁹の一部沖繩聯隊區司令部將校以下一〇、海上第二十六戰隊の一部を編入せしめられ各大隊を改編す

ハ 敵は(1)項陣地線に對し逐次主力殊に戰車を以て勝山方向より攻撃すると共に經塚西方⁶²正面より壓縮す第一線大隊は比等優勢なる敵に對し能く陣地を確保し聯隊正面は五月十七日頃は甚しく突出し危険を生ず

ニ 五月十七日聯隊は²²¹と交代し中地區隊となり戰車隊の右翼(1)は石嶺附近を占領し(2)に連繫し石嶺東北側¹³⁰高地¹⁴⁰の如く陣地を占領せしむ

1500高地を占領しありしが連日の激斗により損害甚大にして五月二十日に至り毎日四十数名の死傷者を出し之が補充のためには後方の兵力涵濁するの虞大なりしを以て師團長の認可を得て之を後退TAとの中間地區に陣地を占領戦斗せしむ此時Iの兵力は大隊長二十数名に過ぎず

五月二十一日師團命令に基き左地區隊となりTKの擔任地區を併せ擔任す聯隊長は從來の中地區隊の配備を其儘とし又TKの陣地を左第一線としI特の鈴木大隊長をして之を指揮せしめ

二十九日總攻撃中止後五月下旬師團島尻地區轉進迄に於る狀況概ね左記要圖第六の如し

二 首里戦線撤退より島尻地區轉進終了迄

三 師團は軍命令に基き更に戰略持久を強化する目的を以て五月二十八日島尻地區轉進に關する師團命令を下達し概ね左の如く部署する所あり

1 師團司令部 六月二日新垣に轉進

2 第一師団は五月二十九日現陣地撤退三十一日與座に集結

3 第二師団は五月二十八日現陣地撤退友寄附近饒波川の線を占領し第二收容部隊となり六月七日眞壁附近集結

4 第三師団は現陣地に概ねIの兵力を五月三十一日迄殘置し五月二十九日

出發全力を以て南風原と國場間國場川の線を占領し六月二日同陣

地撤退同島大城森附近に集結

5 其の他略す

三 師團各部隊は前項部署に基き概ね左の如く行動す

師團司令部は五月二十八日首里出發、津嘉山に一日潛伏の上二十九日新垣に集結す